令和８年度　ひたちなか市立勝田第三中学校　グランドデザイン

本県教育の目標
- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

校　訓
至誠　勤勉　協和

本校の教育目標
豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成

ひたちなか市の教育目標
夢・感動・笑顔が広がる教育のまち　ひたちなか
- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

いばらき教育プラン
一人一人が輝く教育立県を目指して

目指す生徒の姿
- ○自ら考え進んで取り組む生徒
- ○誠意をもち思いやりのある生徒
- ○何事も力いっぱい躍動する生徒

目指す学校の姿
- ○生徒にとって夢と感動のある学校
- ○教職員が協働し誇りに思える学校
- ○保護者・地域とともに歩み信頼される学校

目指す教職員の姿
- ○情熱のある教職員
- ○団結力のある教職員
- ○学び続ける教職員
- ○生徒、保護者、地域から信頼される教職員

学校組織目標
「夢と感動のある学校（勝田三中）」を目指して　～キーワード「自立」「尊重」「創造」～

学校経営の重点目標
1　確かな学力の育成　　2　豊かな心の育成　　3　健やかな体の育成
4　特別支援教育の推進　　5　教職員の資質の向上
※　地域に誇れる学校づくり（安全・安心な学校）

○変化の激しい社会をしなやかに、かつ強かに生き抜く生徒の育成
○産・官・民（地域の教育力）・学の「多職種連携」による教育活動の展開

校内研修テーマ　学力向上のための「授業力向上」
～教科の特性と生徒の実態に合わせた授業改善を通して～

各教科・領域

「わかる・できる・学びたくなる授業」の展開
- アウトプット重視の授業スタイル
- まとめと振り返りの確実な実施
- 基礎的・基本的な知識の確実な定着
- 問題・課題解決学習の展開（AL 型授業）
- 教育的ツール等の効果的利活用（クラウド・AI）

健康・体力

「健康教育」の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 主体的な運動習慣の定着
- 安全能力（危険回避等）の育成
- 食育の推進と望ましい食習慣の形成

教職員の資質・能力

「高度専門職」としての資質能力の向上
- 職員室のワークエンゲージメントが高く、風通しの良い職員室づくり
- 校内研究の継続（授業研究会の定期実施）
- OJT やメンター制等を通した人財育成
- 適材適所の校務分掌
- ミニ研修会（人間関係づくり、教育相談、特別支援教育、教育的ツール等）の設定
- 自主研修サークルの奨励（学級経営、教科経営等）

KPI
- 授業に主体的に取り組んでいる…60%以上
- 授業の学習内容がよくわかる…50%以上
- 時間外在校等時間 45 時間の遵守

学年・学級経営・特別活動

「相手を大切にする心、思いやる心」の育成
- 自分の力が発揮できて、一人ひとりが認められる学校行事や特別活動の実施
- 自律的な活動や体験活動、コミュニケーション活動の充実、あいさつや黙働の励行
- 生徒主体の集会（縦割り交流活動）の実施
- SGE、SST、SEL-８S（発達支持的な指導）の実施

生徒支援・特別支援教育

「校内支援体制」の強化の継続（個別の援助ニーズに基づく支援）
- 安心して学べる学校風土の醸成
- アセスメント（シグマ）、日々のモニタリング（P-Lin）に基づく個別的な支援
- 問題行動の未然防止（課題予防的生徒指導）
- 早期解消に向けたチーム援助（課題対応的生徒指導）
- 生徒相談活動の強化（ピアな関わり）

KPI
- 学校が楽しい…80%以上
- みんなで何かをするのは楽しい…90%以上
- 不登校対策…チーム援助者会議、毎日実施

地域とともにある学校づくり
① 地域と一体となった教育（ｺﾐｭﾆﾃｨ・ｽｸｰﾙ）
② 開かれた学校運営（各種たより、通信ｱﾌﾟﾘ等での積極的な情報発信、学校評価の充実と HP 活用）
③ 地域行事との連携
④ 学校評価の充実と活用

信頼される学校づくり
- ○ 安心・安全な学校づくり（保護者と連携した援助）
- ○ 透明性の高い学校運営（情報公開、説明責任）
- ○ 信頼される教職員（教育への熱意と専門性、人権意識、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ）
- ○ ワークエンゲージメントの向上